

おかやまアーツフェスティバル2023

岡山市民の文芸

第55回岡山市民文芸祭受賞作品

ジュニアの部

【詩】

◎岡山市長賞

特別な感覚

直野桃子（朝日塾中等教育三年）

どの人にも好きな物、好きな景色、様々な

「好き」があるだろう。私にも沢山の

「好き」がある。

夜に見る道の灯り。心が落ちつくゼリー。

職人並みに研ぎ澄まされた海の波の音。

玄関先で匂う香の香り。猫を抱いた時に

伝わってくるぬくもり。

「好き」は必ずしも五感だけで感じとれるとは限らない。

本当に、自分が意識していない間に体が覚えてしまうんだろう。

毎週金曜日の学校帰りで感じる開放感。

町中で芸能人とそっくりな人と遭遇した時の面白さ。

身の回りの物を新しく調達した時の新鮮さ。

きつと私達は「好き」な事だけを見つけ出して

していく時の方が輝けるんじゃないか。

夢じゃないと確信するきつかけとなった

生々しい感覚。

きつとそうだ。当たり前のようにだけど、

確実に私達は輝くために特別な感覚を感じ続けているんだ。

なまえ

溝部友都 (第二藤田小一年)

おとうとが いった

「あ、しょうぼうしや」

ぼくは こたえた

「あれはね、ポンプしやだよ」

ぼくは しょうぼうしやが すき

ずかんで みるのもすき

しょうぼうしよに いくのもすき

トミカも いっぱいもってる

ポンプしや

ハイパーレスキューしや

はしごしや

しょうぼうしきしや

なつやすみに であつた

すいなんきゆうじよしや

おかやまに 一だいだけつて

しょうぼうしさんが おしえてくれた

それぞれ するしごとがちがう

だから なまえもちがう

どのしごとも かつこいいから

ぼくは ちゃんとした

なまえで よびたいんだ

言葉

赤木 美瑞希 (横井小四年)

言葉には形がある

丸い形もあれば

トゲトゲの形もある

人の話す言葉は耳に入ったじてんでは

「ただの言葉」

でも、人それぞれでその言葉の

受けとり方、感じ方はちがう

もし自分がいやな思いをしたとき

自分の意見をはっきり自分の言葉で言う人は

「強い」

トゲトゲ言葉を言う人は

「弱い」

言葉には力がある

はげましてくれたり、楽しくしてくれる

言葉はすてきだ

力と言ってもいろいろな力がある

注意してくれる、おうえんしてくれる、

それがいいの言葉にも

力がある

「だって本当のことだもん！」

と、言う人もいるが

その素直な言葉は

受けとらなくても良い

聞いて楽しくなったり、悲しくなったり、

イライラしたり、幸せになったり・・・

やっぱり言葉ってふしぎだな

【短歌】

◎岡山市長賞

雨あがり雲よりひかり伸びいでてのぼってみたい天使のはしご
坪井優奈 (吉備中二年)

◇岡山市教育委員会教育長賞

なつのひる木からかなでるセミの声セミの国のだいがつしようだね
市明煌 (第二藤田小四年)

夏の夕暑さに負けず走る君流れる汗を陽が輝かす
臼井蓮音 (芳泉中二年)

【俳句】

◎岡山市長賞

めかくしでてのなるほうへすいかまで
小野未南子 (第二藤田小三年)

◇岡山市教育委員会教育長賞

スパイクを打ちこむ腕に流る汗
北島優香 (西大寺中三年)

夏の雲心の穴をうめてくれ
内田響 (西大寺中三年)

【川柳】

◎岡山市長賞

四年ぶり本当の夏を手に入れた
西山柚希 (吉備中一年)

◇岡山市教育委員会教育長賞

そうめんはながすと千倍うまくなる
鳥井尋斗 (福田小三年)

コロナ明け祭りだ金魚ださいかいだ
端山沙希 (福田小五年)